

令和4（2022）年度第1回子ども・子育て会議 議事概要

日時：令和4年7月26日（火）19：00～

場所：八尾市役所 本館6階大会議室

出席者：委員16名、事務局（関係課含む）

議題

1 市長あいさつ

2 八尾市子ども・子育て会議について

（1）委員の委嘱

（2）会長・副会長の選任

（3）その他

子ども・子育て支援事業計画策定部会（専門部会）委員の指名

3 案件

（1）八尾市こどもいきいき未来計画の実績等について

（2）令和4（2022）年4月1日現在の待機児童数等について

事務局より

資料1「八尾市こどもいきいき未来計画 令和3（2021）年度推進状況」

資料2「地域子ども・子育て支援事業にかかる利用等の状況」

資料3「令和4（2022）年度 教育・保育給付にかかる就学前施設利用等の状況」

資料4「令和4（2022）年4月1日現在 待機児童数等」の概要説明。

資料3の概要説明において、八尾市子ども・子育て支援事業計画について、計画と実績に大きな乖離がないことから、中間年における計画の見直しは行わず現在の計画に基づき、教育・保育の供給体制の確保を進めていくことを報告。

◆委員意見・質問

- ・ 資料1の児童虐待通告件数について、虐待種別・年齢別件数、東大阪こども家庭センター分の件数について教えてほしい。また、一時保護として措置された件数についても教えてほしい。八尾で一時保護された子どもたちがどのように保護されているのか知りたい。そのほか、資料1いじめの認知件数について千人あたりの件数が記載されているが、小学校・中学校それぞれの人数を知りたい。
- ・ 資料2について、八尾市の子育て支援員が地域に根ざし、寄り添って支援していただきたい。資料3の保留児童177名について、その後どうされているのかわかれば教えてほしい。資料2の一時預かり事業について、利用者は在宅育児の方か、保留児童の方かわかれば教えてほしい。
- ・ 子育て短期支援事業（ショートステイ事業）について、利用申込みしようとしても利用できないことがあると聞くと、今後市としてどのようにそのような子どもを見守っていかうと考えているのか教えてほしい。また、具体的な数値があれば教えてほしい。年々育児ができない親が増えている状況で、こども家庭センターの一時保護で措置されていることも増えてきているので、八尾市で八尾の子どもたちを守っていくための施設を考えていただきたい。

い。

- ・ 資料4について、保留児童 177 名に対して、施設の空き状況を教えてほしい。また、年齢別も教えてほしい。保留児童の方は施設に空き枠がある中なぜ入所しないのか知りたい。
- ・ 小規模保育施設を整備されたと思うが、4月1日時点の空き状況を教えてほしい。

◇事務局の説明

- ・ 令和3年度の東大阪こども家庭センターが受けた八尾市分の通告件数は924件、その他の件数については持ち合わせがないため、後日回答。
- ・ いじめの人数については、延べ件数となるが、小学校で2,420件、中学校で247件となっている。
- ・ 保留児童の数というのは認可園に申し込んではいないものの、入所できなかった児童数になるが、例えば企業主導型を利用されている方や1号認定（教育標準時間認定）を受けて一時預かりとセットで使われる方など、なんらか行き場を見つけれられている方もおられる。
- ・ 一時預かり事業については、在宅の方が利用される場合、1号認定の方が教育標準時間終了後に利用される場合、夏期休暇中に利用される場合等の実績を記載している。
- ・ ショートステイ事業については、児童養護施設の定員が飽和状態になっていると聞いており、なかなか希望通り利用できない状態となっていることは認識している。引き続き、委託先の新規開拓に努めてまいりたい。なお、具体的な数値はない。
- ・ 令和4年4月1日段階の保育施設の空き状況は138枠となっている。年齢別では、0歳児26人枠、1歳児7人枠、2歳児10人枠、3歳児55人枠、4歳児26人枠、5歳児14人枠となっている。
- ・ 保留児童となった方一人ひとりの細かい状況を聞き取れている訳ではないが、177名の保留児童のうち企業主導型保育施設や認証保育施設等、何らかの行政の補助が入っている認可外施設等に入られた方は45名と把握できている。それ以外の方については、育児休業を延長されるなどで、ご希望の施設を待っていらっしゃるものと考えている。
- ・ 小規模保育施設について、本年度3施設あり、4月1日時点では、0歳児で5枠、2歳児で1枠空きがあった。

（3）就学前施設の整備について

事務局より

資料5「小規模保育事業A型設置・運営事業者の公募について」の概要説明。

◆委員意見・質問

- ・ これから出生率が下がる見込みの中、公募することはいかかなものかと思う。
- ・ 応募がなかった場合は、どうなるのか。
- ・ せっかく募集して整備する以上はその施設に入ってほしいと思うが、募集地域が広いので、募集地域の中で、どこに作れば利用しやすいのか教えてほしい。

◇事務局の説明

- ・ 現在の計画の数値は子どもが減っていくことを見込んだ計画となっており、例えば児童数において0歳児では計画値と比べて実績は若干上振れしており、1・2歳児は若干下振れして

いるが、ほぼ計画に近い形で推移しており、ニーズの伸びについても計画に近い形で推移しているので、計画に基づいて、保留児童が多く出ている 0～2 歳児の保育枠確保のために、小規模保育施設を整備していくものである。

- ・ 応募がなかった場合について、昨年度の例で説明すると、2 施設募集したが、募集期間中に応募がなく、期間延長した結果、1 施設整備することができたので、今年度においても 2 カ所の募集を行っているので、少なくとも 1 カ所の整備は行いたいと考えている。実際に応募がなかった場合の対応については今後検討していきたい。
- ・ 募集地域については、177 名の保留児童の実際におられる地域の分布状況や、これまで数年の経過等も踏まえてこの 2 地域を設定させていただいている。応募を検討する事業者が整備したい地域に物件が見つかるかどうかという問題もあるので、募集期間は長めに設定しており、事業者が決定すれば、せっかく整備した新規施設が有効活用されるよう、保護者に丁寧に案内しながら利用調整を進めていきたい。

案件（４）その他

事務局より

参考資料 1 「こども総合支援センター(ちらし)」について概要説明。

今後のスケジュールについて

（報告事項につき、意見交換なし）

<総括>

◆会長・副会長意見

- ・ ショートステイ事業について、ニーズに対応できる方策を考えていただきたい。
- ・ ショートステイ事業について、八尾市は母子生活支援施設がありそこでの受け入れは可能だが、児童養護施設はない。国は小規模化を図っていこうとしており、地域分散や、里親の増加を進めようとしている。年齢によって受け入れが可能な施設も変わってくる。
- ・ 需要と供給のバランスがマッチしていない状況が起こってきているように感じる。保留児童のうち施設の空きを待っていると思われる人の中身をもう少しリサーチしていけばよいと思う。
- ・ 就学前施設整備について、待機児童が 0 になると新規施設整備が進まなくなる自治体もある中、施設整備をしていくというのはありがたい。

閉 会